

# リレーコラム

今年度の1回目は、昨年度まで当センターの副所長として勤務されていましたが、障がい者基幹相談支援センターの石井浩明係長にお願いしました。

今年の4月に福岡市障がい者基幹相談支援センターに異動となりました。就労支援センター在職中は、関係者の皆様には大変お世話になりました。

平成30年度からの法定雇用率の具体的な数字が聞かれるようになり、企業にとってはいかに良い人材を確保していくかが更に大きな課題になります。逆に言うと働くことを希望する障がい者や支援者にとってしばらく追い風が続くと言われていています。ただ、追い風に乗って「いけいけどんどん」では、フォローアップに時間や労力を取られることになりかねません。そのような時だからこそ、面談によるニーズや状況等の把握、本人及び企業のアセスメント、ジョブマッチング、企業との調整、現場での支援、フォローアップという就労支援の基本を丁寧に行うこと、また障がい者側に偏った視点や支援ではなく企業と障がい者の間に立った視点、支援が重要だと思います。そのためセンターの役割や期待は今後も大きいと思います。

さて、現在勤務している福岡市障がい者基幹相談支援センターは、各種研修による相談支援従事者の育成、困難事例に対する助言、関係機関との連携強化等を行う市基幹相談支援センターと、障がい者虐待の通報届出の受付、養護者による虐待を受けた障がい者の保護や支援、養護者への支援等を行う虐待防止センターの役割を担っています。

就労は生活の一部であり、生活という土台が安定していないと就労が不安定になるのは間違いありません。就労支援、生活相談、虐待防止・・・その人がその人らしく生活するためにはどれも重要な支援です。市内には多くの社会資源がありますが、それが点ではなく、面としてあるいは重層的に機能するためには、使い古された言葉ではありませんがやはりネットワーク、連携支援の視点や考え方が必要なのだと思います。

支援するフィールドは異なりますが、今後ともよろしく願いいたします。



## ご利用案内

福岡市障がい者就労支援センターは障がいのある方の企業就労を進めるために、障がいのある方・企業・関係機関への支援を行っています。

一般企業への就職を希望する障がいのある方や障がい者雇用をお考えの事業所を対象に、ジョブコーチ(※)支援や関係機関とのネットワークの活用を通して、障がい者雇用の入口から採用後のアフターフォローまで一貫したサポートを提供しています。

※障がいのある方が自立して職務ができるようにサポートするスタッフです。派遣費用は一切必要ありません。

編集：社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団

福岡市障がい者就労支援センター

発行：平成29年8月1日

連絡先：〒810-0072

福岡市中央区長浜3丁目11-3

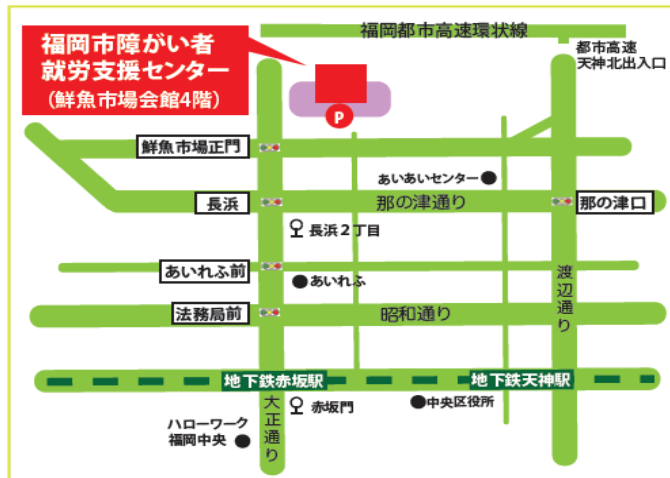
福岡市鮮魚市場会館 4階

電話：092(711)0833

FAX：092(711)0834

URL：http://www.fuku-syuuro.or.jp

E-mail：info@fuku-syuuro.or.jp



### 編集後記

当センターが長浜に引っ越しして一年が過ぎました。去年に比べ今年はカラスが少なくて快適だと思っていたら、鷹匠さんが来て追い払ってくれていたとのこと。カラスも少なくなり快適(?)になった環境で、職員一同、支援に関する相談をお待ちしていますので、遠慮なく就労支援センターをご利用ください！  
ジョブコーチ F



福岡市障がい者就労支援センター

平成29年8月発行  
Vol. 48

## 平成29年度 事業報告



4月	
5月	
6月	第1回スキルアップセミナー
7月	第1回企業セミナー 同業種交流会 障がい者雇用サポートデスク開設 第1回就労移行支援事業所研修会 はたらく仲間のつどい
8月	パソコン等講習事業 (一般事務コース 10月迄)
9月	就労移行支援事業所OJT研修
10月	第2回企業セミナー 同業種交流会 第2回就労移行支援事業所研修会
11月	障がい者就労支援セミナー パソコン等講習事業 (事務補助コース 12月迄) 第2回スキルアップセミナー
12月	
1月	同業種交流会 第3回企業セミナー
2月	働く仲間のつどい 第3回就労移行支援事業所研修会
3月	

### スキルアップセミナー

6月23日(金) 6月30日(金) 7月7日(金)

3日間のスケジュールで、スキルアップセミナーを実施しました。講座の内容は、ビジネスマナー講座、日常生活を振り返る「働く準備チェック」、本番に備えた履歴書作成・模擬面接、そして障がい者を雇用している企業の見学です。見学先の『西部ガス絆結(株)コピーセンター絆結』では、DMの封入を体験しました。取締役社長の船越様からは「『今の自分を知ること』が企業で働くための準備として一番大切なこと」また、現在働かされている障がいのある方々からは職場のチームワークの重要性などについて、それぞれからお話いただきました。職場で忙しく、また、生き生きと働く障がいのある方々の様子を見学することで、受講生の皆さんは、就労の意欲が一層湧いてきているようでした。セミナー受講で向上した意欲が低下しないよう、今後の支援を行っていきたいと思います。



### 同業種交流会 7月6日(木)

職場定着の一環として、販売業関係で働かれています方を対象に交流会を実施しました。当日はあいにくの天気でしたが、ご本人7名とご家族3名の参加がありました。接客で困ったことや、休日の過ごし方などを話され、みなさん早々に打ち解けられている様子でした。今回は少人数での開催。そのため、お一人ずつ職場の紹介や今後の目標などをパワーポイントで作成し、プレゼンしていただきました。皆さん「そう、そう」「なるほど」と様々な場面で共感されていました。障がいのある方もご家族の方も情報交換の場を求められているようで、ご家族からは「ずっと案内を待っていました」とのお声もいただきました。今後もご期待に沿えるよう企画していきたいと思ひます。



### 企業向け

#### 「障がい者雇用サポートデスク」を開設！

障がいのある方のサポートと同時に、障がい者雇用に取り組む企業の支援も行っています。企業の方が電話で気軽に障がい者雇用についての相談ができる窓口を開設しました。是非、ご利用ください。

専用電話：092-711-0839

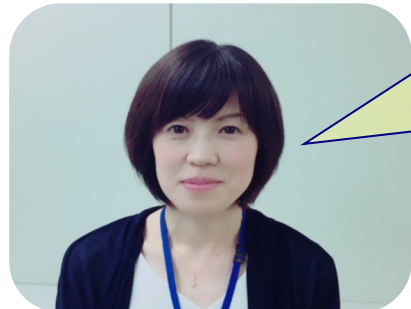


### 障がい者就労支援センターってどんなところ？



## 密着！！就労支援コーディネーターの仕事

福岡市障がい者就労支援センターは今年で15年目を迎えます。障がい者の就労を支える支援機関の方々にもっと当センターのことを知っていただけて活用してもらいたいと思っています。今号は、当センターを構成する3つの職種(就労支援コーディネーター・ジョブコーチ・就労支援相談員)のうち、就労支援コーディネーターについて紹介します。



ご本人、ご家族の歩んできた道のりに思いを馳せ、就労の実現に向けて、寄り添っていきたくと思っています。宜しくお願い致します。

就労支援コーディネーター  
堂園 文 さん (今年で15年目)

#### 就労支援コーディネーターとは？

障がいがある方から最初に相談を受ける窓口の役割をしています。その方の就労ニーズに応じた支援計画を立て、状況に応じ、ジョブコーチとペアとなり支援をします。ご家族・関係機関や企業との連絡調整も行っています。

#### ① 6月☆日 面談

「利用者の方の声に耳を傾ける」

利用者の方のこれまでの歩み、障がいの特性、現在の状況等を整理し、就労ニーズを把握した上で適切な情報提供、サポートを検討します。利用者の方の仕事に対する思いや不安な気持ちに寄り添っていきたくと思っています。

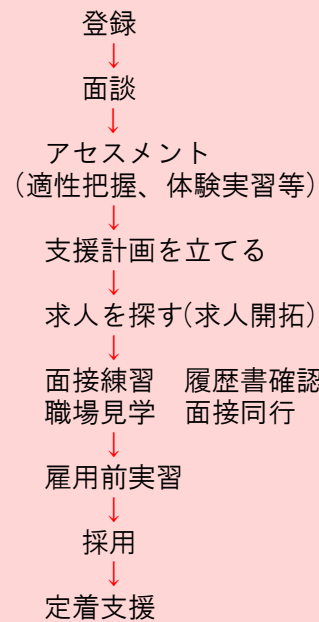


#### ② 6月▽日 アセスメント

アセスメントは、利用者の方の得意なことや苦手なこと、また、どのような状況・状態にあるのかを正しく知り、あわせて今後の支援方法を検討するために行うものです。詳しくは、ジョブコーチ特集の時に紹介します！



#### <就労支援センター 支援の流れ>



支援の流れに沿って紹介します！



※相談は予め予約をお願いしています。



当センターの就労支援コーディネーター

#### ③ 6月◇日 就労移行支援事業所の見学同行

「一般企業への就職を目指して」

一般企業への就職に向けて、すぐに就職を目指すよりも、訓練などを経て段階的に進めていくことが望ましい方については、利用者の方の希望に沿った就労移行支援事業所を案内させていただく事もあります。



#### 6月△日

スタートアップ講座(出前講座)にて

就労支援センターでは、就労移行支援事業所の支援者向け又は利用者向けに出前講座を実施しています。

この日は、「お困りごとなんでも相談」として、市内の就労移行支援事業所から「就労支援センターにどのタイミングで相談したらよいか」「定着支援のゴールはどこか」等の質問を事前にいただき、それに答えるという内容で講座を実施しました。数日後、早速、新規登録の相談があり、今後就職に向けて連携しながら進めていくことになりました。支援員の方々と直接お会いすることで、お互い相談しやすい関係を作りながら、連携をスムーズに進めていきたいと思っています。スタートアップ講座のお申込みをお待ちしています！



#### ④ 6月×日 企業見学

「ジョブマッチングを念頭に」

(株) Plan・Do・See  
WITH THE STYLE FUKUOKA

アセスメント→就職に向けての訓練→体験実習を行い、今後の方向性を確認した上で企業情報を提供し、見学に同行しました。見学後の感想は「実際に見学することで仕事のイメージができました。面接を希望します」との事。今後は、面接、雇用前実習の流れで進める事となりました。引き続きご本人の夢である就労の実現にむけてしっかり応援していきます。



#### 6月◎日 スキルアップセミナーにて講師を務める

スキルアップセミナーは当センターで年2回行っている利用者向けの講座です。ビジネスマナー講習や職場見学を通して、就職に対しての準備や心構えについて学んでいただくことを目的としています。

今回は、講師として、参加者の方にビジネスマナーを伝え、ロールプレイを通じて面接の練習を行いました。参加者の熱心な受講ぶりに少し緊張もしましたが、一つでも多く就職に向けて必要なスキルを身につけてもらいたいと思い、精一杯講師を務めました。



#### ⑥ 6月○日 定着支援

ケース会議に参加

「関係機関との連携支援」



障がいのある方が安心して働き続けるためには、就労面及び生活面の一体的な支援が必要になってきます。

当センターを利用され10年以上継続して勤務されている方のケース会議に担当ジョブコーチと共に参加しました。参加者は、ご本人及びご家族、相談支援事業所、社会福祉協議会あんしん生活支援センター。振り返ると様々な環境の変化がありましたが、継続就労に向けご本人の頑張りを、引き続き各支援機関との連携によるサポートで支えていきたいと思っています。

#### ⑤ 6月※日 雇用前実習の振り返り

「就職はゴールでなくスタート」

ローズサービス(株)



企業への見学、面接を経て雇用前実習をし、いよいよ実習最終日となりました。ご本人は実習を通して「ここで働きたい」、企業の方も「前向きに検討したい」との意向。後日、工場長より「採用」の連絡を頂きました。採用に至るまでもご本人にとっては平坦な道のりではなかったかも知れませんが、採用が決まってからがまた新たなスタート。これから働く上で、様々な乗り越えなければならない困難があるかと思いますが、ジョブコーチと共に見守りながら、サポートが必要な時は、一緒に乗り越えていきたいと思っています。

\*写真等につきましては、ご本人および事業所の了承を得て掲載しています。